

教 育 長 様

研究コース	グループ研究Aコース
校 園 コー ド (代 表 者 校 園 の 市 費 コー ド)	631368

代表者 校 園 名 : 大 阪 市 立 香 簗 小 学 校
校 園 長 名 : 尾 崎 士 郎 校 印
電 話 : 6474-5210 FAX: 06-6474-8318
申 請 者 校 園 名 : 大 阪 市 立 香 簗 小 学 校
職 名 ・ 名 前 : 教 諭 丸 岡 慎 弥
電 話 : 06-6474-5210 FAX: 06-6474-8318
代 表 者 校 園 事 務 職 員 名 : 岩 崎 珠 弥

平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究 申請書

◇ 本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究Aコース	研究年数	新規研究(1年目)
2	研究テーマ	子どもの発言で深める「考え議論する道徳」を実現する授業方法の開発 ◆ 研究内容のキーワード: 研究の内容をキーワードで記載してください。(【例】学力向上、体力向上等) 考え議論する道徳 ファシリテート 多面的多角的 教材活用 構造的な板書			
3	研究目的	テーマに合致した目的を端的に記載してください。 ○授業研究を通し、子どもたちが多面的多角的に道徳的諸価値を深めることのできる道徳授業の構成を開発する。 ○子どもたちの多様な考えを引き出したり広げたりするための教材活用の方法を開発する。 ○子どもたちの多様な意見を適切にファシリテートするための教師の指導技術の向上を図る。			
4	研究内容	継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。 ○授業研究を通し、子どもたちが多面的多角的に道徳的諸価値を深めることのできる道徳授業の構成を開発する。 ・授業の構成や板書方法など、子どもたちの多面的多角的な意見を引き出す方法を研究する。 ○子どもたちの多様な考えを引き出したり広げたりするための教材活用の方法を開発する。 ・指導者が教材をどのように研究するのか、子どもたちが教材から感じたことをどのように表現すればよいのかの方法を研究する。 ○子どもたちの多様な意見を適切にファシリテートするための教師の指導技術の向上を図る。 ・子どもたちの発言を深めるための問いについての研究を深める。			
5	活動計画	日程など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。 4月 校内研修会 5月 校内研究授業&研修会 7月 日本道徳教育学会 参加 自由研究発表(東京) 8月 校内実践交流会 校内研究授業&研修会 (外部講師招聘) 11月 日本道徳教育学会参加 自由研究発表(石川) 12月 校内研究授業&研修会(外部講師招聘) 1月 公開研究会準備のための部会 2月 公開研究会 児童アンケート 3月 年間のまとめ			

6	見込まれる成果	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている子どもの様々な力の育成 および 教員の資質や指導力の向上について、見込まれる成果を端的に記載してください。</p> <p>○子どもたちが多面的多角的に道徳的諸価値を理解する力を高めることを通して、子どもたちが自己の生き方を深めたり高めたりする力を育むことができる。</p> <p>○「考え議論する」道徳を実現するための教師の授業技術の向上(教材理解、授業構成、発問、板書など)を高めることができる。</p> <p>○多面的多角的な意見を引き出したり広げたり深めたりするためのファシリテート力の向上を高めることができる。</p> <p>○若い先生を中心に様々な研修会に触れることにより、自身の指導を広げたり深めたりすることを通して、教師力を向上させ、学校の教育力を向上させることができる。</p>				
7	成果の検証方法	<p>客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>○児童アンケートの項目「道徳の授業が楽しみだ」の肯定的割合を80%以上にする。</p> <p>○児童アンケートの項目「道徳の授業は自分の生き方を広げたり高めたりすると思う」の肯定的割合を80%以上にする。</p> <p>○児童アンケートの項目「道徳の授業では、お話や友だちの意見から学ぶことができた」の肯定的割合を80%以上にする。</p> <p>○教員アンケートの項目「道徳の授業が楽しみだ」の肯定的割合を80%以上にする。</p> <p>○教員アンケートの項目「道徳の授業づくりが年度初めよりも理解できた」の肯定的項目を80%以上にする。</p> <p>○教員アンケートの項目「児童の多面的多角的な意見を引き出し、考え議論する道徳授業が達成できた」の肯定的項目を80%以上にする。</p>				
8	研究発表の日程・場所(予定) 研究成果の共有方法	<p>研究発表は報告書提出日(平成31年2月25日)までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所(予定)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>日 程</td> <td>平成 31 年 2 月 日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>校内 講堂</td> </tr> </table> <p>○研究成果の共有方法:研究発表 および 代表校園HPでの共有は必須です。他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日 程	平成 31 年 2 月 日	場 所	校内 講堂
日 程	平成 31 年 2 月 日					
場 所	校内 講堂					
9	代表校園長のコメント	<p>今年度から始まる道徳の教科化に向けて、昨年度から授業研究および校内研修会に取り組んできた。また、外部から講師を招聘し、示範授業および講義を受けることで授業をする上での不安や評価方法への疑問等の解消につながった。引き続き、道徳科の研究を進めていくことで、本校教職員の授業力を向上させ、そのことで子どもたちの規範意識の醸成にも結びつけたい。</p> <p>また、今後、大阪市全体の道徳教育に貢献できる教職員を育て、他校へ異動した後も転任先の学校で道徳教育の中心となり推進できる教職員を育てるためにもこの研究の支援をお願いいたします。</p>				

※上記の内容を**A4判2ページ(文字は10ポイント)※厳守**で作成し、**平成30年4月20日(金)**までに大阪市教育センター「がんばる先生支援」担当まで提出してください。